

刈り遅れに注意しましょう！（8月）

高温の影響により登熟が進み、収穫期の前進が予想されます。刈り遅れは「胴割れ米」や「茶米」の発生が助長され、米の品質低下につながります。適期に刈取り作業が始められるよう準備を進めましょう。

刈取り適期の判断のポイント

1 登熟積算気温

出穂期から登熟期間中の毎日の平均気温を合計した「登熟積算気温」が、品種ごとの基準に到達したら刈取り適期となります。あらかじめ収穫時期のめやすを把握し、刈取り作業に備えましょう（裏面参照）。

2 もみの水分率

もみの水分が25%になったら収穫を開始しましょう。昨年の早期コシヒカリの調査では、1週間で5～6%ほど低下しています。

3 高温年は「帯緑もみ割合」は参考程度に

高温年はもみの色が緑色でも中の玄米の登熟が進んでいることがあるため、出穂後日数やもみ水分なども考慮して、総合的に判断しましょう。

【主要な品種の収穫期のめやす】

品種名	作期	積算気温(℃)	帯緑もみ割合(%)	出穂後日数(日)
コシヒカリ	早期	950～1,150	15～10	33～40
キヌヒカリ	早植	980～1,180	35～15	34～42
	普通期	950～1,200		35～45
彩のきずな	早植	900～1,200	50～10	31～42
	普通期	900～1,100	40～15	33～41
彩のかがやき	早植	910～1,100	90～45	34～42
	普通期	1,010～1,250	55～25	40～52

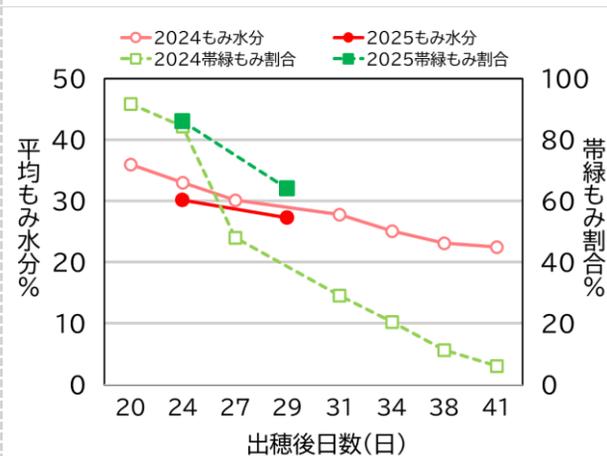
本年のもみ水分等の状況

玉井試験場のもみ水分の測定結果は以下のとおりです。昨年同時期に比べてもみ水分は低くなっています。昨年より気温が高く、成熟が早まっていると考えられます。なるべく収穫適期の前半で刈取りを行うようにしましょう。

「コシヒカリ」(5月1日植)の測定結果

5月1日植 コシヒカリ	測定日	出穂後日数 (日)	積算気温 (℃)	帯緑もみ割合 (%)	もみ水分 (%)
7月20日 出穂	8月13日	24	691	86	30.1
	8月18日	29	836	64	27.3

※もみ水分等の測定結果については、更新を予定しています。農技研HP(水田高度利用担当)も右のQRコードからご覧ください。



【参考】もみ水分、帯緑もみ割合の推移 (5月1日植コシヒカリ 2024年、2025年)

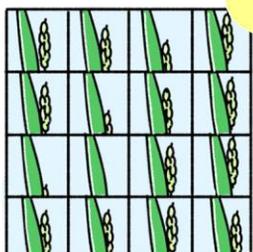
○ 登熟積算気温から算出した収穫期のめやす

	田植日	出穂期のめやす	収穫期のめやす
コシヒカリ	5月5日	7月21日	8月22日 ~ 8月29日
	5月15日	7月26日	8月28日 ~ 9月4日
	5月25日	8月2日	9月4日 ~ 9月12日
キヌヒカリ	5月15日	7月24日	8月26日 ~ 9月3日
	5月25日	7月30日	9月2日 ~ 9月10日
	6月5日	8月4日	9月7日 ~ 9月16日
	6月15日	8月10日	9月14日 ~ 9月24日
	6月25日	8月17日	9月21日 ~ 10月3日
彩のきずな	5月5日	7月21日	8月21日 ~ 8月31日
	5月15日	7月25日	8月25日 ~ 9月5日
	5月25日	7月31日	8月31日 ~ 9月11日
	6月5日	8月5日	9月6日 ~ 9月15日
	6月15日	8月10日	9月12日 ~ 9月20日
	6月25日	8月16日	9月18日 ~ 9月27日
彩のかがやき	5月15日	8月7日	9月9日 ~ 9月16日
	5月25日	8月13日	9月16日 ~ 9月25日
	6月5日	8月16日	9月21日 ~ 10月1日
	6月15日	8月20日	9月28日 ~ 10月9日
	6月25日	8月23日	10月2日 ~ 10月15日

※出穂期、収穫期の目安は8月19日現在の熊谷地方気象台の気象データ（予測日前日までの観測データ、予測日以降の予測データ）を基に農技研開発の「農作物発育予測プログラム」を用いて算出したものであり、今後の気象状況により前後することがあります。

起点となる「出穂期」を正しくとらえていますか？

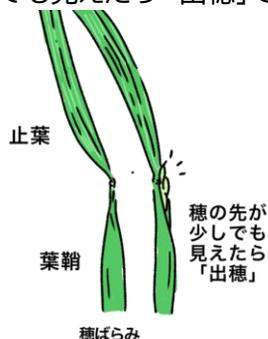
感覚的な「出穂期」とずれが生じている場合があります



出た出た！

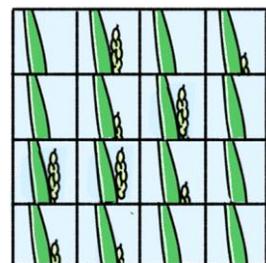


①葉鞘の先から穂の先端が少しでも見えたら「出穂」です



穂の先が少しでも見えたら「出穂」

②ほ場の約5割が出穂した頃が「出穂期」です



ほ場全体の約5割が出穂



穂が出揃うよりも前の段階が「出穂期」となります。数日のずれが発生しますので正しく把握しましょう。